



# 祝 浪江町名誉町民顕彰式 第45回 浪江町功労者表彰式

## 功績をたたえて

# 浪江町名誉町民顕彰式 第45回 浪江町功労者表彰式

11月3日の文化の日に浪江町名誉町民顕彰式・第45回浪江町功労者表彰式が浪江町地域スポーツセンターで行われました。

式では、本町出身の医師として郷土の名誉を著しく高められた原中勝征さんに浪江町名誉町民称号が贈られ、各般にわたって地域振興に貢献された方や震災で町に援助をいただいた方々が表彰され、名誉町民の称号が贈られた原中勝征さんと受章者代表の吉田繁雄さんより謝辞が述べられました。

なお、受章者は次のとおりです。(名誉町民称号贈呈1名、特別功労表彰7名、功労表彰5名、善行表彰12名)



名誉町民 原中 勝征さん

## 浪江町名誉町民

(敬称略)

### ● 原中 勝征

(田尻出身 茨城県在住)

(東京大学医学研究所内科医局長10年、東京大学助教授7月、茨城県医師会会長6年、日本医師会会長2年、医療法人杏仁会大圃病院理事長在任中26年8月)

多年にわたり内科医師としてがんの研究をされ、東京大学助教授、医療法人杏仁会大圃病院理事長、茨城県医師会会長、日本医師会会長などを歴任し、現在も引き続き大圃病院理事長としてがん治療および地域医療の発展に尽力し、これら数々の功績により旭日重光章を受章されるなど、氏の活躍は当町出身者として郷土の名誉を著しく高められました。

また、日本医師会会長在任中に起きた東日本大震災の際には、被災地へ日本医師会災害医療チームをいち早く派遣し、被災地での人命救助に当たり、さらに、医薬材料や食料品等の多くの物資、多額の義援金の寄附など、物心両面から浪江町民の支援に大変尽力されています。

問 総務課秘書係 TEL 0240(34)0239

## 特別功労表彰

(敬称略)

多年にわたり、消防署員として消防行政の進展に尽力し、瑞宝双光章を受章されました。

### ● 吉田 繁雄 (小野田)

(消防吏員39年6月、うち消防長9月)

### ● 柴 繁 (井手)

(消防吏員38年9月、うち消防長3月)

多年にわたり、浪江町議会議員として地方自治の発展に寄与し、旭日単光章を受章されました。

### ● 紺野 廣邦 (幾世橋)

(浪江町議会議員3期12年)



謝辞 吉田 繁雄 さん



多年にわたり、保護司として更生保護に挺身し、藍綬褒章を受章されました。

### ● 陶 富治 (大堀)

(保護司26年2月、うち双葉地区保護司会会長4年)

多年にわたり、消防団幹部として消防行政の向上に尽力し、藍綬褒章を受章されました。

### ● 佐々木保彦 (昼曽根)

(消防団員45年7月、うち団長5年)

多年にわたり、自衛官として公共秩序の維持に尽力し、正六位瑞宝双光章を受章されました。

### ● 三瓶 實次 (下津島)

(浪江町議会議員6期24年、うち議長2年1月)

### ● (故)宮口 福夫 (室原)

(自衛官27年9月、うち第6戦車大隊副大隊長5年、最終階級2等陸佐)

## 功労表彰

(敬称略)

東日本大震災による困難な状況の中、避難移住先において平成28酒造年度全国新酒鑑評会で金賞を受賞し、地域特産品の活性化に著しく貢献された。

### ● 株式会社 鈴木酒造店長井蔵 (請戸)

## 善行表彰

(敬称略)

多年にわたり、浪江町消防団員として職務に精励され、消防防行政の向上に寄与されました。

### ● 天野 昇 (小野田)

(消防団員30年)

### ● 今野 剛 (赤宇木)

(消防団員28年)

### ● 高橋 将之 (川添)

(消防団員27年)

### ● 森 晴彦 (川添)

(消防団員25年)

### ● 門馬 和彦 (権現堂)

(消防団員25年)

# 祝 浪江町名誉町民顕彰式 第45回 浪江町功労者表彰式



### ● 田澤 義秀 (川添)

(消防団員23年)

### ● 陶 英雄 (天堀)

(消防団員23年)

### ● 橋本 春夫 (赤宇木)

(消防団員21年)

### ● 景山 勝美 (酒田)

(消防団員20年)

東日本大震災発災以来、浪江町民を物心両面から励まし、浪江町には多額の金品を寄附されました。

### ● 佐藤 道雄 (京都府)

### ● 武田 彰二 (東京都)

### ● 神奈川港運協会横浜港運協会 会長 藤木 幸夫 (神奈川県)